

2022年度 自己点検・評価結果

評価実施：2023年 4月

結果集約：2023年 6月

評価者：全教職員、学校機能評価委員会

1. 学校の教育目標

1. 医療の変化に対応できる人材の育成
2. チーム医療の担い手の育成
3. 医療の国際化に対応できる人材の育成
4. 地域医療の向上に貢献できる人材の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 定員充足(PT40名、OT20名)
- (2) 国家試験合格率100%達成, 国家試験対策教育の充実
- (3) コロナ対策、脱コロナに向けた取り組み

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価基準 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

1 教育理念・目標			評価	本校実施状況
1	1	中項目 理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)		
1	1	1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	定めている 学校の理念・目的・育成人材像は定め、ホームページ等に明示している
1	1	2 学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4	明文化し、周知している 学生便覧に明示し、学生及び保証人に配布している
1	1	3 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4	明文化し、周知徹底を図っている 学生便覧に明示し、定期的に朝礼で周知している
1	1	4 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4	明文化し、公表している ホームページ等に明示し、公表している
1	2	中項目 教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)		
1	2	1 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	4	方向づけられている 教育目標及びポリシーを定め、ホームページ等に明示している
1	2	2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	4	構想を描くために調査している 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を開催し、調査している
1	2	3 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	明確になっている 教育目標及びポリシーを定め、ホームページに明示している
1	2	4 各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	4	文書化され、提示している 学生便覧に明示している
1	2	5 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を描いているか	4	描いている 中長期計画を立てている

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

2 学校運営			評価	本校実施状況
2	1	中項目 運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)		
2	1	1 教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	策定している アミーバ会議にて策定している
2	1	2 運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	4	周知し、必要に応じて確認している 教職員会議にて周知している
2	2	中項目 事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)		
2	2	1 運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4	策定し共有している 事業計画を策定し共有している
2	2	2 学校の年間スケジュールはあるか	4	ある 年間スケジュールをまとめ、学生便覧に明示および学生配布している
2	2	3 事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいるか	4	作成し、予算を組んでいる 事業計画に伴う予算を組み、事業収支計算書にまとめている
2	2	4 事業計画の執行状況を確認しているか、または確認する体制があるか	4	確認している 月1回、アミーバ会議を実施している
2	3	中項目 運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)		
2	3	1 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	4	整備され、開催している 学校運営会議規定を定め、定期的を実施している
2	3	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	明確化し、有効に機能している 学校運営会議規定および校務会議規定を定め、機能的に校務を遂行している
2	3	3 組織機能図があるか	4	ある 組織表および業務分掌表を作成している
2	3	4 運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	4	開催している 校務会議規定、教職員会議規定を定め、週1回校務会議を実施し、月1回教職員会議を開催している
2	3	5 理事会・評議員会の議事録は公開されているか	2	公開していない、実施しているが不十分 理事会・評議員会を実施し議事録を作成しているが、公開していない
2	3	6 教職員(組織の構成員)それぞれの職務分掌が文書化されているか	4	文書化している 業務分掌表に定めている
2	3	7 意思決定システムを整備しているか	4	整備している 学校運営会議規定および校務会議規定を定めている

2	3	8	出退勤管理簿があるか	4	ある 就業規則で定め、出勤簿で出退勤等の管理をしている
2	3	9	教職員の健康診断がされているか	4	している 就業規則に定めており、年1回実施し結果をフィードバックしている
2	3	10	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	4	行っている 月に1回、環境整備担当を中心に点検し、必要に応じて保守・管理を行っている
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)		
2	4	1	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	ある 授業終了後、学生による授業アンケートを実施している
2	4	2	教員の組織体制を整備しているか	4	整備している 組織表および業務分掌表を作成している
2	4	3	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	評価し、記録している 全ての教員(専任・兼任)に対して、教員調書により必要なコンピテンスを有しているかを確認し、記録保管している
2	4	4	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	4	持っている 理学療法士および作業療法士ならびに担当科目に適した講師について教員調書により確認している
2	4	5	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)	4	十分に知らせている 学生アンケートを用いてニーズを分析し、その結果を校務会議および非常勤講師説明会にて知らせている
2	4	6	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	3	手配し指導しているが、再考が必要 不測の事態に対応できるよう、引継がれた内容についてシラバスに則り適格者が授業を実施しているが、ルール化および文章化できていない
2	4	7	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	行っている グループ校全体で研修を実施している
2	4	8	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	4	行っている FD研修を実施している
2	4	9	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	4	実施している コンピテンシーおよび職務能力目標自己申告書に基づいて教員面接を実施している
2	4	10	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	4	受講させている 研修規定を定めており、研修計画を立て、研修報告書にまとめている
2	4	11	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	4	作成している 年間を通じた研修計画書を作成している
2	4	12	教員の資質向上への取組を行っているか	4	行っている 研修規定を定め、臨床研修および大学院併修を奨励している
2	4	13	県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援しているか	4	奨励・支援している 教員に対してメール等にて案内し、参加を促している。場合により研修費用の支援を行っている
2	4	14	[職業実践専門課程]教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	4	実施している 研修規定を定めており、研修計画を立て、研修報告書にまとめている
2	4	15	校内研修(OJT)を行っているか	4	行っている FD研修を実施している
2	4	16	企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援しているか	4	奨励・支援している 研修規定を定めており、場合により研修費用の支援を行っている
2	4	17	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	4	実施している 年に1回非常勤講師説明会を実施し、新入職員に対して新入職員研修を実施している
2	4	18	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	実施している グループ内で研修を実施し、新入職員に対して新入職員研修を実施している。年に1回避難訓練を実施し、教職員および学生は訓練に参加している。
2	4	19	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4	行っている 年に1回、非常勤講師説明会を実施し、情報交換を行っている
2	4	20	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	4	講じている グループ校でYIC研修を実施している
2	4	21	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	4	有している コンピテンシーおよび職務能力目標自己申告にて必要なコンピテンスを有しているかを確認し、記録保管している
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)		
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	4	整備している 就業規則に定めている
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	4	整備している 給与規定に定めている
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	4	文書化している 給与規定、昇格・降格運用規定に定めている
2	5	4	採用制度は文書化されているか	4	文書化している 就業規則に定めている
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)		
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	3	図られているが、改善の余地あり ネット環境、校内サーバー、AV機器、情報システム等が充実しているが、煩雑な部分もあり、教育活動等業務の効率化のための整備が必要

① 課題

- 2-4-6: ルール化及び文章化されていないため、マニュアルを策定することが望ましい
- 2-6-1: ルール化されているが、より一層円滑に運用できるような情報システムが望ましい

② 今後の改善方策

- 2-4-6: 不測の事態に備えて、引継ぎなどに対応できるマニュアルを策定する
- 2-6-1: 情報セキュリティも含めて、教育活動等業務の効率化を図る組織体制およびシステムを構築する

③ 特記事項

3 教育活動			評価	本校実施状況
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)	
3	1	1	4	明示、周知、公表及び検証を行っている 学生便覧に明示し、学校構成員に周知している ホームページに明示し、社会に公表している 1年に1回、教育課程編成委員会にて検証を行っている
3	1	2	4	明確にしている 学生便覧およびカリキュラムマップに明示している

3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4	明示、周知、公表及び検証を行っている 学生便覧に明示し、学校構成員に周知している ホームページに明示し、社会に公表している 1年に1回、教育課程編成委員会にて検証を行っている
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)		
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	編成されている カリキュラムツリーおよびカリキュラムマップに明示している
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	作成している シラバス作成のガイドラインおよび記入例に従い、シラバスを作成し、学生に提示している
3	2	3	各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	1	作成していない コマシラバスを科目担当者により作成していることもあるが、ルール化していない
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	4	年度開始時に示し、活用している シラバスを年度開始時にWeb上にアップロードし、学生が閲覧できるようにしている
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図っているか	4	シラバスに基づいて展開し、周知を図っている シラバスに基づいて授業を展開しており、授業内容に変更がありシラバスと異なる場合は、事前及び事後にシラバスを変更し、学生に提示している。またシラバスはWeb上にアップロードし、学校構成員が閲覧できるようにしている。
3	2	6	教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されているか	4	開示している カリキュラムは学生便覧に明示し、入学時オリエンテーションで学生に配布している
3	2	7	[職業実践専門課程]修業年限は2年以上となっているか	4	なっている 修業年限は4年であり、学則に定められている
3	2	8	[職業実践専門課程]総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上となっているか	4	なっている PT:3405時間/162単位 OT:3400時間/160単位 理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインに定められている総授業時数(PT3120時間、OT3150時間)および総単位数(101単位)を上回り、学生便覧に明示している
3	2	9	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	4	記載している シラバスに到達目標を記載している
3	2	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	4	明確にしている 成績審査に関する規定に定め、シラバスに明示している
3	2	11	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	4	配慮している 実技・実習と講義を連動しており、カリキュラムマップに明示している。科目により複数教員が講義に関わり、シラバスに明示している
3	2	12	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	4	実施している 授業評価は授業(全15コマ)終了後、学生アンケートを用いて匿名化し、実施している。 成績評価は基準を明確にし、成績審査に関するガイドラインを策定し、スケジュールを立てて実施している
3	2	13	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	2	実施しているが、不十分 定期的でなく、申し出により他者の授業を観察している。他者による授業観察の取り組みを実施できていない。
3	2	14	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	4	適切に実施している 半年に1回実施し、結果を年報に記載している
3	2	15	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	4	役立てている 学生アンケートによる授業評価の結果を用いてフィードバックおよび面談をしている
3	2	16	質保証を目的とした授業の評価にあたり、アセスメント結果(学修成果)のレビューを取り入れているか(アセスメント結果を、当初の目標と比較して評価しているか)	4	取り入れている 定期試験の結果を用いて、フィードバックをしている
3	2	17	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	4	考慮している 教育課程編成委員会およびカリキュラム検討委員会を編成し、カリキュラム改定に取り組んでいる
3	2	18	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	4	行っている 業務分掌表でカリキュラム編成委員会を組織し、カリキュラムの検証を行っている
3	2	19	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	4	関係者を入れている 教育課程編成委員会を設置し、外部委員を含めて年に2回会議を行い、意見を取り入れている
3	2	20	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	4	経験者が担当している 業務分掌表でカリキュラム編成委員会を組織し、カリキュラム編成の経験者が中心となって設計および開発を進めている
3	2	21	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	3	選択されているが、再考が必要 実践的かつ最新のものを選択しているが、教科書については学科学年により学生費用負担にばらつきがある
3	2	22	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	4	行っている 年に2回教育課程編成委員会を実施し、定期的に教科書および教科書を含めた学習教材を見直している
3	2	23	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出版及び著作権について、適正に処理できているか	4	適正に処理できている 配布資料等には出版を記載し、また必要に応じて一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)届出を行っている
3	2	24	教員・講師及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	2	情報提供しているが、不十分 教員および学生に対して情報提供しているが、講師に情報提供していない
3	2	25	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	実施している ディプロマポリシーに基づいてカリキュラムを編成し、カリキュラムマップに明示し組み立てを行っている。またアクティブラーニングおよびインストラクショナルデザインの手法を用いて教育を行うことについて、定期的に朝礼で共有している
3	2	26	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4	実践できている 臨床実習を体系的に位置づけカリキュラムマップおよびカリキュラムツリーに明示している。その内容、評価法などを事前に決め、臨床実習の手引きに明示している
3	2	27	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	4	行っている 臨床実習を行っており、臨床実習学生配置表にまとめている
3	2	28	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	4	ある 臨床実習を行っており、カリキュラムマップに明示している
3	2	29	企業・地域・行政との連携を図っているか	4	図っている 企業:県内を中心とした病院施設と連携して臨床実習を行っている 地域・行政:地域貢献事業を実施し、学生もカリキュラムとして参加している
3	2	30	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	4	行っている 山口大学医学部と連携し、解剖見学実習を行っている
3	2	31	県内の人材を活用して、授業等を行っているか	4	行っている 講師に県内病院施設等の理学療法士及び作業療法士を招聘している
3	2	32	県内の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っているか	4	行っている 県内病院施設にて臨床実習を行っている
3	2	33	学生が県や各市・町の自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っているか	4	行っている 県内病院施設にて地域実習を行っている
3	2	34	公共のマナーについて、教育・指導しているか	4	教育・指導している 年に1回、情報リテラシー講義を実施し、授業(ソーシャルスキル論)で教育・指導している
3	2	35	交通安全教育を行っているか(交通事故死者数全国ワースト上位からの脱却を図るべく教育を行っているか)※地域の特性を活かした教育の例	1	実施していない
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)		
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	明確になっている 単位、進級及び卒業の認定に関する規定および成績審査に関する規定を定めている
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	提示している 学生便覧に単位、進級及び卒業の認定に関する規定および成績審査に関する規定に明示し配布している

3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4	行っている 単位、進級及び卒業の認定に関する規定および成績考査に関する規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っている
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	4	行っている 病院施設等の理学療法士及び作業療法士を招聘し、講義・臨床実習および客観的臨床能力試験(OSCE)を実施している
3	3	5	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	把握している 評価について臨床実習の手引きにて明示し、学生が実習報告会にて臨床実習後の成果を発表し、教員が評価している
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	4	閲覧制限している 個人情報保護規定に定め、閲覧制限をしている
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)		
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4	ある カリキュラムマップに明示している
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	4	ある 理学療法士および作業療法士国家資格:国家試験対策委員会を編成している 障害者スポーツ指導員:日本障害者スポーツ協会認定施設として登録し、授業内で資格取得のための指導をしている
3	4	3	カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配付しているか	4	実施している カリキュラムは文書化し、学生便覧に明示し配布している シラバスはデータ化し、Web上に示している
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)		
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4	実施している キャリア教育を行い、キャリア発達を促している。 授業(ソーシャルスキル論、PT・OT概論、臨床実習セミナー等)、就職ガイダンスを実施している
3	5	2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	4	把握し、改善を図っている 教育課程編成委員会等にて把握し、カリキュラム検討委員会および校務会議で検証し、教育活動の改善を図っている
3	5	3	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)(平成23年1月31日)の内容を参照していますか	4	参照している 職業教育・キャリア教育財団認定キャリアサポーターにより就職ガイダンス等を実施している。教員調書、免許資格研修届出書にて確認している
3	5	4	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫しているか	4	工夫している 学年により段階的にキャリア教育(授業等)を行い、4年次では病院および施設の面接等に則した就職ガイダンスを実施している
3	5	5	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	行っている 高校に赴き、連携授業を実施している ※2022年度実績計2回
3	5	6	リメディアル(導入前教育・補習)教育を行っているか	4	行っている 入学前に来校型および課題提出型のリメディアル教育を実施している
3	5	7	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	行っている 基礎学力試験を実施し、担当教員が実習前に面談を実施し、記録している

① 課題

- 3-2-3:コマシラバス作成をルール化し、運用していくことが望ましい
- 3-2-13:他者の授業を観察すること、および他者による授業観察の取り組みを実施することが望ましい
- 3-2-21:学習教材は、質を担保しつつ、学生費用負担を軽減する努力をすることが望ましい
- 3-2-24:教材の利用等に関する規定を講師マニュアル等に記載することが望ましい

② 今後の改善方策

- 3-2-3:コマシラバス作成のルール化および作成を進める
- 3-2-13:授業観察の取り組みをルール化し、実施する
- 3-2-21:学習教材を検討する際に、複数の関係者で検討し、議事録を作成する
- 3-2-24:講師マニュアルを策定し、教材の利用等に関する規定について周知する

③ 特記事項

4 学修成果・教育成果			評価	本校実施状況	
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)		
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	4	アセスメントしている 成績考査に関する規定で定めており、前期および後期期末試験を実施している
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	4	実施している カリキュラムマップに定め、成績考査に関するガイドラインおよびシラバスに明確な基準を明示し、実施している
4	1	3	コースの開始前又は開始時に、学習する内容に関して学習者が有するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか	4	行っている 入学前に来校型および課題提出型のリメディアル教育を実施し、入学後に基礎学力試験を実施し、アセスメントを行っている
4	1	4	要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a) 学習サービスの名称及び目的やb) 指導時間数、c) 達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか	4	提供している 科目名および時間数は学生便覧に明示し、学習者の要請により成績証明書を発行している
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)		
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	4	図っている キャリアサポート担当者により結果を分析し、就職指導・支援の改善を図り、教職員会議にて報告している
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	4	共有している 年間目標:就職内定率100%とし、共有している
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	4	記録している 学生が就職活動報告書を提出し、キャリアサポート担当者が管理している
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	4	公表している パンフレット・ホームページにて公表している
4	2	5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	4	検証・報告している キャリアサポート担当者により検証され、教職員会議にて報告している
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)		
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	3	図られているが、改善が必要 第58回国家試験(2022年度) 理学療法学科:88.5% 全国87.4%(新卒94.9%) 作業療法学科:87.5% 全国83.8%(新卒91.3%)
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	4	設定している 年間目標:国試合格率100%とし、共有している
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	4	共有している 年間目標:国試合格率100%とし、その計画を教職員に共有している
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	4	検証・報告している 国家試験対策委員会で検証し、教職員会議で報告している

4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	4	公表している ホームページにて公表している
4	3	6	資格等の取得率向上のための対策を講じているか	4	講じている 国家試験対策委員会で検証し、教職員で対策を実施している
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)		
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	3	把握しているが、卒業生は不十分 在校生の社会的な活躍については把握し、場合により表彰規定に準じて表彰している。卒業生は同窓会と連携して活躍及び評価を把握しており、場合により就職その他の支援を行っているが、連絡が取れない卒業生もおり、全数把握できていない
4	4	2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	3	把握しているが、不十分 同窓会と連携して調査・集計し、動向を把握しているが、連絡が取れない卒業生もおり、全数把握できていない
4	4	3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	3	調査・把握しているが、不十分 同窓会と連携して調査・集計し、動向を把握しているが、連絡が取れない卒業生もおり、全数把握できていない

① 課題

- 4-3-1: 国家試験合格率向上のための方策について、学生の特性や過去問題の傾向に合わせて適宜見直すことが望ましい
- 4-4-1~3: 卒業生の動向を把握することが望ましい

② 今後の改善方策

- 4-3-1: 1~4年生に対する国家試験対策の取り組みについて、アセスメントを実施し、定期的に見直し実施する
- 4-4-1~3: 卒業生に対して積極的な動向調査はしないが、把握しやすい環境(同窓会、県士会活動等)を整える

③ 特記事項

5 学生支援			評価	本校実施状況
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)	
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	4 適切に行っている 1年に2回以上学生面談をし、必要に応じて学習支援や奨学金案内をしている
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)	
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	4 整備している 業務分掌表にて担当を定めており、就職ガイダンスおよび保護者会等にて支援内容等について周知している
5	2	2	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか	4 いる キャリアサポーター9名、産業カウンセラー2名が在籍している
5	2	3	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	4 図られている キャリアサポート担当と4年生担任(および1~3年生担任)の連携が図られており、教職員会議で共有されている
5	2	4	関連業界への就職率の向上は図られているか	4 図られている ※2022年度卒業生実績(2023年6月現在) 理学療法学科: 100%(23/23名) 作業療法学科: 100%(7/7名)
5	2	5	就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はあるか	4 ある 分掌によりキャリアサポート担当を定めている
5	2	6	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っているか	4 取っている 放送大学と協定を結び体制は整っているが、学生にとって必要性やメリットが無いため積極的には勧めていない。大学院等への進学は申し出により対応する
5	2	7	早期から、県内または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明しているか	4 説明している 1年次授業(PT・OT概論)にて説明している
5	2	8	県内への就職率の向上は図られているか	2 図られているが、不十分 2022年度卒業生就職率実績 県内66.7% 20名(PT13名/OT7名) 県外33.3% 10名(PT10名/OT0名)
5	2	9	企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開しているか	4 まとめ、公開している 図書室の一角に就職情報コーナーを設置している
5	2	10	就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励しているか	4 開催している 企業からの要望により就職説明会を開催し、参加を奨励している
5	2	11	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けているか、または指導しているか	4 講座を設け、指導している 病院および施設の面接等に則した就職ガイダンスを実施している
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)	
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	4 整備している YICグループとして総合支援室を設置している
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	4 ある 学生面談記録がある
5	3	3	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っているか	4 行っている 入学時を含め年に2回以上、担任およびゼミ担当者が面談を実施している
5	3	4	いじめや孤立を早期に発見する体制があるか	4 ある 1・2年生はQ-Uを実施している。年に2回以上、担任およびゼミ担当者が面談を実施し、学科・学校で共有している
5	3	5	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがあるか	4 ある 担任およびゼミ担当者を中心に学科・学校で対応し、場合によりYICグループ総合支援室で対応する。
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)	
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 整備している 公的・民間融資の他、学校独自の各種奨学生制度およびYICグループサポート制度がある
5	4	2	公的支援制度の利用について、学生・保証人(保護者)に案内、情報提供しているか	4 案内、情報提供している 入学時オリエンテーションにて学生・保証人に案内、情報提供している
5	4	3	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか	4 ある 学校独自の各種奨学生制度およびYICグループサポート制度がある
5	4	4	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか	4 行っている 学校独自の各種奨学生制度およびYICグループサポート制度がある
5	4	5	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4 ある 健康管理規定に定め、1年に1回、健康診断を実施している
5	4	6	有所見者の再健診について適切に対応しているか	4 適切に対応している 健康診断の結果を書面にて伝え、健康管理規定に準じて有所見者の再健診を促している
5	4	7	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 整備している 学生団体に関わる規則を定めている
5	4	8	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4 行っている YICグループサポート制度で一人暮らしサポートを実施している
5	4	9	遠隔地からの学生のための寮を整備しているか、またはアパート・マンションの紹介等をしているか	4 整備している YICグループサポート制度で学生寮を整備している
5	4	10	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えているか	4 整えている 授業(PT・OT管理学)にて子育てや女性の就業支援について教授しており、学生は就職活動に役立てることができる。
5	4	11	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	4 行っている オープンキャンパスの際に個別相談を実施しYICグループサポート制度等の案内をしている。在学生には個別面談を実施し、要望により対応している。

5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)		
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	2	図られているが、不十分 ※2022年度実績:5.7% 学生情報を共有し、退学率の低減に向けた取り組みをしているが、目標値に届いていない
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	4	設定している 年間目標:退学率3%以下として、共有している
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4	共有している 年間目標:退学率3%以下として、定期的に学生の動向を確認し、共有している
5	5	4	退学者数を公表しているか	4	公表している ホームページで公表している
5	5	5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	4	把握している 面談により原因を把握している
5	5	6	中途退学防止のための対策を講じているか	4	講じている 1年に2回以上、担任およびゼミ担当者が面談を実施し、必要に応じて対応している
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)		
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	4	連携している 保護者会を実施している
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	4	行っている 1年に1回(1年生は2回)保護者会を実施している
5	6	3	緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか	4	確保している 学生調査書により管理し、連絡体制を確保している
5	6	4	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか	4	連絡・面談している 場合により保護者等に連絡を取り、電話または対面で面談をしている
5	6	5	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えているか	4	実施している 保護者会を開催し、各種情報を提供している
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)		
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	4	整備している 本人からの依頼により対応している
5	7	2	学校情報を卒業生に知らせているか(HP・学校便り等)	4	知らせている ホームページ、各種SNS等を活用し知らせている。
5	7	3	学校は同窓会との連携を図っているか	4	図っている 同窓会があり、連携を図っている
5	7	4	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	4	ある 同窓会が研修会を企画・実施し、学校がサポートしている。
5	7	5	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	4	講じている 国家試験不合格者の学習支援をしている
5	7	6	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	取り組んでいる 同窓会が研修会を企画・実施し、学校がサポートしている。
5	7	7	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	整備されている 学校独自の各種奨学生制度のうち社会人特別就学支援制度がある
5	7	8	大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	4	規定し、適切に認定している 既修得単位認定について規定し、校務会議を経て適切に認定している

① 課題

5-5-1:退学率が目標に達していないため、対策を立て退学率低減を図る取り組みを実施することが望ましい

② 今後の改善方策

5-5-1:退学率が目標に達していない原因について分析を行い、学生支援につなげる

③ 特記事項

6 教育環境			評価	本校実施状況	
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)		
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	4	整備している 指定規則に準じた施設・設備基準であり、十分に対応できるよう整備している
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4	備えている 図書台帳で管理し、図書室およびWeb上に備えている
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4	整備している 指定規則に準じた機材・備品について、備品担当者により管理され、1ヶ月に1回または適宜環境整備担当を中心に点検し、整備している
6	1	4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	3	機能しているが、再考が必要 図書室があり、図書管理規定が定められているが、図書の貸し出し運用ができていない
6	1	5	学習環境として外部組織が管理する施設・設備を用いる際には、必要となる最小限の要件を特定し、提示しているか	4	特定し、提示している 外部組織の規定等を確認し、学生および担当者に提示している
6	1	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	案内している 学生相談について掲示板に掲示し、学生便覧に明示している
6	1	7	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	4	文書化、掲示している 学生便覧に明示し配布している。学生ホールに敷地内禁煙について掲示している
6	1	8	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	4	管理・チェックしている 学生及び教員が週に1回以上、学内の整理・整頓・清掃をし、環境委員および環境整備担当が管理・チェックをしている
6	1	9	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	4	行っている 環境整備担当が月に1回点検を行い、必要に応じて補修・修繕を業者に依頼または教職員が実施している
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)		
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	整備している 臨床実習ガイドブックに明示している
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	4	整備している 臨床実習ガイドブックに明示している
6	2	3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	4	決めている 臨床実習ガイドブックに明示している
6	2	4	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれているか	4	組込んでいる 臨床実習について、シラバスに明示している
6	2	5	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知しているか	4	作成し、周知している 臨床実習ガイドブックに明示し学生に配布している
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)		
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	整備し、運用している 防災規定に明示している

6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	4	整備・点検している 年に2回、整備・点検している
6	3	3	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ているか、また必要に応じそれらの計画を変更しているか	4	実施している 消防計画を消防署に届出しており、必要に応じ変更している
6	3	4	施設・設備の耐震化を図っているか	4	図っている 施工時の検査記録に記載している
6	3	5	定期的に防災訓練を実施しているか	4	実施している 年に1回、消防訓練を実施している
6	3	6	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っているか	3	実施しているが、検討の余地あり 消防訓練を実施している。感染拡大予防、弾道ミサイル落下時の対応等について適宜指導及び掲示をしているが、学校独自の研修の機会には設けていない
6	3	7	学校における安全管理の整備を行っているか	4	行っている 危機管理委員会にて危機管理マニュアルを整備し、また学生災害保険および医療系実習保険に加入している

① 課題

- 6-1-4: 貸し出し運用のみならず、蔵書の管理も計画的に実施することが望ましい
- 6-3-6: 掲示のみでなく、不測の事態でも防災行動に移せるような指導をすることが望ましい

② 今後の改善方策

- 6-1-4: 蔵書が紛失しないよう、貸出および管理ルールを策定する
- 6-3-6: 学校独自の防災研修を実施する

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			評価	本校実施状況
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選考を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)	
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 適正に行っている パンフレット、募集要項等を用い、オープンキャンパス、高校ガイダンス等で募集活動を行っている
7	1	2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	4 策定し、周知・公表している アドミッションポリシーを策定し、学生便覧およびホームページに明示している。
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	4 わかりやすく紹介している パンフレットおよびホームページに明示している
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	4 公正かつ適切に行っている 募集要項に受け入れ方針を明示している
7	1	5	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか	4 行っている パンフレット、各種SNS、YICニュースの発行送付や高校訪問等により情報提供を行っている
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	4 提供している パンフレットおよび年報に明示し配布している
7	1	7	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	4 できている 業務分掌表、入学試験委員会規定があり、体制ができている
7	1	8	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	4 行っている オープンキャンパス、ガイダンス等でパンフレット・募集要項を用いて情報提供を行っている
7	1	9	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	4 行っている 入学前に来校型および課題提出型のリメディアル教育を実施している
7	1	10	体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか	4 実施し、紹介をしている オープンキャンパスを実施し、教育内容・施設設備等の紹介をしている
7	1	11	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	2 伝えているが、不十分 授業評価結果についてパンフレットに明示し、オープンキャンパスにて配布している。要求、提案及び苦情に対応する手順(アンケート含む)を構築しているが、入学前には伝えていない
7	1	12	教授資格、教歴及び背景など、授業や実習を担当する教員・講師のプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	4 紹介している パンフレットおよび年報に明示しオープンキャンパスで配布および紹介している
7	1	13	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 本人からの申し出により特定している オープンキャンパス等の個別面談により聴取している
7	1	14	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか	4 案内している 入学時オリエンテーションにて案内している
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)	
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	4 明示している アドミッションポリシーおよび選抜方法を募集要項に明示している
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選考を行っているか	4 公正かつ適切に行っている 入試規定があり、入学試験委員会が定められており、選考を行っている
7	2	3	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4 活用している 入学願書および試験結果を把握し、学力の不足や障がいに関する特別なニーズがある場合に対応している。
7	2	4	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか	4 積極的に受入れている 社会人特別就学支援制度がある
7	2	5	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4 適切に入手し、適切な管理を行っている 入学願書一式を適切に管理している
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)	
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	4 妥当である ※2022年度実績:約5,680,000円(募集要項より) 入学金:400,000円 学費:1,020,000円×4年間 教材費:300,000円程度×4年間
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4 明示している 募集要項に明示している
7	3	3	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4 算定している 経費内容に対応し、学納金を算定している
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応しているか	4 適切に対応している 募集要項に明示している
7	3	5	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	4 提供している 要請により提供している

① 課題

- 7-1-11: 支援体制を整備しており、授業評価についてはパンフレットにより入学前に周知している。要求、提案及び苦情に対応する手順(学生アンケート含む)などの学校生活での支援体制についても入学前に伝えることが望ましい。

② 今後の改善方策

- 7-1-11: 入学前に学校生活での支援体制を伝える方策を検討し、実施する

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム		評価	本校実施状況
8	1	中項目 関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)	
8	1	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 適切に運営をしている 設置基準に則り、教務日誌で管理している
8	1	2 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 整備している 組織図、業務分掌表があり、内部諸規定を定めている
8	1	3 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4 整備し、適切に運用している 内部諸規定を整備し適切に運用している
8	1	4 所轄官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っているか	4 遅滞なく行っている 担当者を定め、遅滞なく行っている
8	1	5 セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	4 文書化し、対策を立て実行している ハラスメント防止規定に定めており、教員室掲示および経営手帳を用いて朝礼にて定期的に周知している。学生便覧ハラスメントの防止に関する規定に明示し学生に配布している
8	2	中項目 個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)	
8	2	1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4 実施している 個人情報の保護等に関する規程を定めており、朝礼にて定期的に周知している
8	2	2 個人情報保護規程が文書化されているか	4 文書化している 個人情報の保護等に関する規程を定めている
8	2	3 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていないか	4 周知し、意識づけができていない 朝礼にて定期的に周知している。
8	2	4 リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じているか	4 講じている 朝礼にて定期的に周知している
8	3	中項目 学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)	
8	3	1 学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	4 実施している 自己点検・評価を実施し、課題解決に取り組んでいる
8	3	2 自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	4 ある 自己点検・評価報告書にまとめている
8	3	3 自己点検・評価の組織があるか	4 ある 自己点検・評価担当者(学内)および学校機能評価委員会(学外)を設置している。
8	3	4 実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいるか	4 整備し、定期的に取り組んでいる 定期的に担当者が自己点検・評価し、1年に1回学校機能評価委員会会議を実施している
8	3	5 学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していたか	4 浸透している 自己点検評価を全教職員で実施し、重点項目について教職員会議で共有している
8	3	6 学校評価を積極的に実施できたか(受動的になったり、義務感でやっていたりなかったか)	4 積極的に実施している 自己点検・評価担当者(学内)および学校機能評価委員会(学外)により積極的に実施している
8	3	7 評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めたか	4 構築し、明確に決めている 自己点検・評価担当者(学内)および学校機能評価委員会(学外)を設置している。
8	3	8 評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	4 考慮し、設計している 自己点検・評価担当者(学内)が評価項目一覧表を用いて計画的に実施している
8	3	9 適切な評価体制を有し、学校評価(学習サービスの評価)が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)	4 適切な評価体制を有し、実施している 学校関係者評価委員会規程を定めており、自己点検・評価の内容を学校機能評価委員会が点検し、議事録にまとめている
8	3	10 学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	4 整備・実施し、改善の取り組みを行っている 1年に1回学校機能評価委員会会議を実施し、改善の取り組みを行っている
8	3	11 学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されているか	4 明文化している 学校関係者評価委員会規定に明示している
8	3	12 学校関係者評価を実施するための組織体制を整備しているか	4 整備している 学校関係者評価委員会規定に明示している
8	3	13 学校関係者評価を実施するために、設置課程・学科の関連業界等から委員を選出しているか	4 選出している 関連業界等から委員を選出している
8	3	14 学校関係者評価結果を報告書にまとめているか	4 まとめている 学校機能評価結果をまとめ、情報公開している
8	3	15 学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えたか	4 協力して行っている 自己点検・評価および学校機能評価を担当者を中心に教職員が協力して実施している
8	3	16 評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できたか	4 構築し、共有している 自己点検・評価および学校機能評価報告を年報に明示し共有している
8	4	中項目 改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)	
8	4	1 自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	4 設けている 教職員会議で報告し、自己点検・評価および学校機能評価報告を年報に明示している
8	4	2 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 活用している 同窓会と連携して調査・集計し、全数でないが動向を把握している。また学校関係者評価委員会(卒業生を含む)で検証し、教育活動の改善の参考にしている。
8	4	3 自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4 策定している 自己点検・評価の結果に基づき重点項目を定めている
8	4	4 自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	3 検証しているが、再考が必要 重点項目の取り組み計画を作成し、結果の検証を実施しているが、進捗状況の確認を実施していない
8	4	5 学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4 策定している 改善計画として重点項目に定めている
8	4	6 学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	4 検証している 学校関係者評価の結果に基づき計画的に改善を進めており、年度末に自己点検評価および重点項目の結果の検証をしている
8	4	7 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)	4 実施している 月に1回、アマーバ会議にてマネジメントレビューを実施している
8	4	8 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 確立している 組織表および業務分掌表があり、対処する手順を確立し、朝礼で定期的に教職員に周知している
8	4	9 学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 案内している YICグループとして総合支援室を設置しホームページで公表している
8	4	10 業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができていないか(苦情及び要請への対応を含む)	4 できている ホームページに問い合わせフォームがあり、適宜対応している
8	5	中項目 教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)	
8	5	1 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 適切になされている ホームページにて情報公開している
8	5	2 学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開しているか	4 積極的に公開している ホームページにて情報公開している

8	5	3	[職業実践専門課程]認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新しているか	4	公開し、更新している ホームページにて情報公開している
8	5	4	自己評価結果を公開しているか	4	公開している ホームページにて情報公開している
8	5	5	学校関係者評価結果を公表しているか	4	公開している ホームページにて情報公開している

① 課題

8-4-4: 重点項目について、結果のみでなく進捗状況を確認し、PDCAを回すことが望ましい

② 今後の改善方策

8-4-4: 重点項目について、定期的に進捗状況を確認し、共有する仕組みを作る

③ 特記事項

9 財務			評価	本校実施状況	
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)		
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4	確立している 貸借対照表および事業報告書にまとめている
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	4	策定している 予算書、中期計画書を作成し、代表が決裁している
9	1	3	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	行っている 会計監査報告書にまとめている
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)		
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	有効かつ妥当である 予算書にまとめている
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4	行っている 月に1回アミーバ会議で執行状況を確認している
9	2	3	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	把握している 学籍管理簿に記載し、事業報告書にまとめている
9	2	4	収入と支出のバランスが取れているか	4	取れている 貸借対照表にまとめている
9	2	5	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしていないか	4	過大でなく、超えていない 貸借対照表にまとめている
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)		
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4	適切に監査を実施し、報告している 会計監査報告書にまとめている
9	3	2	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか	4	明確化している 会計監査規定に明示している
9	3	3	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか	4	明確化している 会計監査報告書にまとめている
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)		
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4	整備し、適切に公開している ホームページで情報公開している
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	4	取り組んでいる ホームページで情報公開している

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献			評価	本校実施状況	
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)		
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	行っている ※2022年度計5件 ・宇部市民(65歳以上の高齢者)を対象としたYICチャレンジデー(体力測定、運動指導)を2回開催 ・あいサポート山口(健常児と障害児がパラスポーツを通じた交流)を開催 ・小学生を対象とした障がい者スポーツ体験を開催 ・小学生を対象とした工作イベントを開催
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	実施している ※2022年度教育訓練受託6件 積極的に受託している。
10	1	3	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放しているか	4	開放している 貸会場利用規定に基づいて学校施設・設備等を開放している
10	1	4	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めているか(前出の県専各連合会主催事業以外のもの)	4	努めている 県内進学・仕事魅力発信フェア、オープンキャンパスおよびガイダンス等で職業教育を行い、職業理解および意識涵養に努めている
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)		
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	行っている 学生表彰規定を定めており、山口県障がい者支援課より全国障がい者スポーツ大会(栃木県)ボランティア要請があり、学生2名について委嘱許可をしている。またボランティア活動が単位の一部となる科目がある(PT:スポーツ理学療法学B、OT:スポーツ作業療法学)。
10	2	2	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか	4	実施している 2022年度計6件 ・宇部市民(65歳以上の高齢者)を対象としたYICチャレンジデー(体力測定、運動指導)を2回開催 ・あいサポート山口(健常児と障害児がパラスポーツを通じた交流)を開催 ・小学生を対象とした障がい者スポーツ体験を開催 ・小学生を対象とした工作イベントを開催 ・障がい者スポーツボランティア参加
10	2	3	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしているか	4	模範となる行動をしている 月1回、学校周辺の掃除をしている。また社会貢献について実施し、年報にまとめている
10	2	4	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励しているか	4	奨励している 地域貢献事業等の案内およびボランティア要請について周知し、必要に応じて許可している

10	2	5	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っているか	4	行っている ※2022年度計65件 ・宇部市まちなか保健室事業を受託し、宇部市民(65歳以上の高齢者)を対象とした健康づくり、介護予防に関する講座を実施 (1)健康教育(サロン、自治会館等における講座等)42件 (2)健康相談(講座実施時の個別相談等)22件 (3)主宰者向け研修会(健幸アンバサダー定例会等の講師)1件
----	---	---	--------------------------------------------	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ① 課題
- ② 今後の改善方策
- ③ 特記事項

11 国際交流(必要に応じて)			評価	本校実施状況
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)	
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 戦略、手続き、体制は整備されているが、実績はない 業務分掌表で入試委員会、国際交流委員会を定めており、受入れについて、願書申請実績があり、入試を含めてその戦略があるが、実績はない。国際交流等における受入れ戦略を持っている
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 戦略、手続き、体制は整備されているが、実績はない 業務分掌表で入試委員会、国際交流委員会を定めており、受入れについて、願書申請実績があり、入試を含めてその戦略があるが、実績はない。
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 戦略、手続き、体制は整備されているが、実績はない 業務分掌表で入試委員会、国際交流委員会を定めており、申し出により対応することができる体制を整えているが、実績はない。
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 行っている 年報およびホームページを外国語併記様式としている
11	1	5	国際交流に取り組んでいるか	4 取り組んでいる 計4大学(韓国2校・カナダ1校・ベトナム1校)と協定を交わしている
11	1	6	海外留学プログラムに対する支援を適切に行っているか	3 適切に行っているが、検討の余地あり 年1回、JASSO海外派遣事業の補助申請しており、採用されることもあるが、採用されないこともある(2023年度の採用なし) 長期留学に対応していない

- ① 課題
11-1-6: 今後、海外派遣事業に採択されることが望ましい
- ② 今後の改善方策
11-1-6: 今後海外派遣事業に安定して採択されるよう、実績を重ねる
- ③ 特記事項